

# 安全データシート

作成日 2024年3月7日  
改訂日 2024年12月10日

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 Glycidyl Methacrylate (グリシジルメタクリレート)  
会社名 アーク株式会社  
住所 大阪市中央区安土町3-5-13  
本町ガーデンシティテラス3階  
電話番号 06-6563-7710  
FAX番号 06-6563-7720

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類 JIS Z 7252、7253:2019 使用

### 物理化学的危険性

引火性液体 区分4

### 健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分4

急性毒性(経皮) 区分3

急性毒性(吸入) 区分4

皮膚腐食性/刺激性 区分1B

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1

皮膚感作性 区分1

生殖細胞変異原性 区分2

発がん性 区分1B

生殖毒性 区分1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露)【区分1】 呼吸器系

特定標的臓器毒性(反復ばく露)【区分1】 肝臓, 呼吸器系, 神経系, 心血管系, 腎臓

### 環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) 区分2

### GHSラベル要素

#### 絵表示又はシンボル



注意喚起語  
危険有害性情報

危険

可燃性液体

皮膚に接触すると有毒

飲み込んだり吸入すると有害重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ臓器の障害：呼吸器系

長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害：肝臓 呼吸器系 神

経系 心血管系 腎臓

水生生物に毒性

### 注意書き

#### [安全対策]

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。炎および高温のものから遠ざけること。禁煙。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。環境への放出を避けること。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

取扱い後は手や顔をよく洗うこと。

#### [応急措置]

保護手袋、保護衣、保護面を着用すること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。

皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。

皮膚を流水、シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。  
眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。  
暴露または暴露の懸念がある場合： 医師に連絡すること。  
火災の場合： 消火するために粉末、乾燥砂、泡を使用すること。

**[保管]**

涼しい所/換気の良い場所で保管すること。施錠して保管すること。

**[廃棄]**

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。  
重合することがある。

GHS分類に該当しない  
他の危険有害性

### 3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区別： 化学物質  
化学名又は一般名： メタクリル酸 2,3-エポキシプロピル  
別名： メタクリル酸グリシジル  
グリシジルメタクリレート  
濃度又は濃度範囲：  $\geq 99.0\%$   
CAS RN： 106-91-2  
化学式：  $C_7H_{10}O_3$   
官報公示整理番号  
化審法： (2)-1041  
安衛法： 公表化学物質

### 4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。  
皮膚に付着した場合： 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹸で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。  
目に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。直ちに医師に連絡すること。  
飲み込んだ場合： 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
応急措置をする者の保護： 救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤： 粉末、泡、水噴霧、二酸化炭素  
使ってはならない消火剤： 棒状水  
火災時の特定危険有害性： 火災時、温度上昇などにより急激に重合し、容器が破裂する恐れがある。安全な場所から消火すること。  
特有の消火方法： 消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。関係者以外は安全な場所に退避させる。周辺火災時、容器に水を噴霧して冷却する。安全に対処できるならば着火源を除去すること。  
消火を行う者の保護： 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 個人用保護具を着用する。漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。  
環境に対する注意事項： 製品が排水路に排出されないよう注意する。  
封じ込め及び浄化の方法及び機材： 乾燥砂、不燃性吸収剤などに吸収させてふた付きの容器に回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。  
二次災害の防止策： 付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。火花を発生しない安全な用具を使用する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策：

取扱いは換気のよい場所で行う。適切な保護具を着用する。  
漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。炎および高温のものから遠ざけること。

静電気対策を行う。

設備などは防爆型を用いる。

取扱い後は手や顔などをよく洗う。

#### 注意事項：

できれば、密閉系で取扱う。

蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる。

#### 安全取扱い注意事項：

あらゆる接触を避ける。

### 保管

#### 適切な保管条件：

容器を密栓して冷蔵庫に保管する。

施錠して保管する。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

#### 避けるべき保管条件：

熱

#### 安全な容器包装材料：

法令の定めるところに従う。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 設備対策：

密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。

取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

### 管理濃度：

設定されていない。

### 許容濃度：

#### 日本産業衛生学会(TWA)：

0.01 ppm (skin)

### 保護具

#### 呼吸用保護具：

防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。

#### 手の保護具：

不浸透性の手袋。

#### 眼、顔面の保護具：

保護眼鏡(ゴーグル型)。状況に応じ保護面。

#### 皮膚及び身体の保護具：

不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理状態：

液体

### 形状：

透明

### 色：

無色～ごくうすい黄色

### 臭い：

果香

### 融点／凝固点：

-42° C (凝固点)

### 沸点又は初留点及び

189° C

### 沸騰範囲：

### 可燃性：

情報なし

### 引火点：

76° C

### 自然発火点：

389° C

### 爆発下限界及び爆発上限界／

### 可燃限界

#### 下限：

情報なし

#### 上限：

情報なし

### pH：

情報なし

### 動粘性率：

情報なし

### 粘性率：

5.48mPa・s (21° C)

### 蒸気圧：

0.42kPa/ 25° C

### 溶解度

#### [水]

可溶 (5g/ 100mL, 25° C)

#### [その他の溶剤]

#### 混和：

多くの有機溶剤

### オクタノール/水分分配係数：

0.96

### 密度及び／又は

1.08

### 相対密度

### (g/ml)：

相対ガス密度： 4.9  
粒子特性： 情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性： 情報なし  
化学的安定性： 熱、光などの影響や過酸化剤との接触により重合することがある。  
危険有害反応可能性： 特別な反応性は報告されていない。  
避けるべき条件： 熱, 裸火, 光  
混触危険物質： 酸化剤, 強酸, 強塩基, 過酸化剤  
危険有害な分解生成物： 二酸化炭素, 一酸化炭素

## 11. 有害性情報

急性毒性： orl-rat LD50:500 mg/  
kg skn-rbt LD50:450  
uL/kg  
皮膚腐食性／刺激性： skn-rbt 500 uL/24H SEV  
skn-wmn 100%/ 6H SEV  
眼に対する重篤な損傷性  
／刺激性： eye-rbt 100 uL MOD  
生殖細胞変異原性： mmo-sat 33 ug/ plate  
(+S9) msc-ham-Ing 200  
umol/L  
cyt- ham- Ing 10mmol/ L/ 6H(+/- S9)  
発がん性：  
IARC = 情報なし  
NTP = 情報なし  
生殖毒性： orl-rat TDLo:110 mg/kg (5-15D  
preg) ihl-rbt TCLo:50 ppm/ 6H (7-  
19D preg)  
特定標的臓器毒性  
-単回暴露： 情報なし  
特定標的臓器毒性  
-反復暴露： 情報なし  
誤えん有害性： 情報なし  
RTECS番号： OZ4375000

## 12. 環境影響情報

生態毒性：  
魚類： 96h LC50:2.8 mg/L (Oryzias latipes)  
甲殻類： 48h EC50:25 mg/ L (Daphnia magna)  
藻類： 72h EC50:32 mg/ L (Selenastrum  
capricornutum) 72h NOEC:2.4 mg/L  
(Selenastrum capricornutum)  
残留性・分解性： 94 % (by BOD) , 96 % (by TOC) , 100 % (by GC)  
\* 既存化学物質安全性点検による判定結果： 良分解性  
生体蓄積性(BCF)： 3  
土壤中の移動性  
オクタン/水分配係数： 0.81  
土壤吸着係数(Koc)： 10  
ヘル定数(PaM<sup>3</sup>/mol)： 3.1x10<sup>-2</sup>  
オゾン層への有害性： 情報なし

## 13. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。  
地方条例や国内規制に従う。  
焼却処理する場合には、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。  
処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号： 2922  
品名(国連輸送名)： Corrosive liquid, toxic, n.o.s.

国連分類：                  ケラス8(腐食性物質)  
副次的危険性：            ケラス6.1(毒物)  
容器等級：                  III  
輸送の特定の安全対策及び条件： 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように 積み込み、荷崩れの防止を確実にし、法令の定めるところに従う。

## 15. 適用法令

### 消防法

毒物及び劇物取締法：  
労働安全衛生法：

第4類引火性液体 第三石油類 非水溶性液体 危険等級III  
劇物(指定令第2条)  
健康障害防止指針公表物質(法第28条第3項)  
変異原性が認められた既存化学物質(法第57条の5)  
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、法第56条第1項の物、  
施行令第17条別表第3第1号)(2024年4月1日以降)  
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、  
第2号別表第9)(2024年4月1日以降)  
船舶安全法：              腐食性物質(危険則第2、3条危険物告示別表第1)  
航空法                      腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)  
港則法                      その他の危険物・腐食性物質(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を  
定める告示別表)  
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)： 第1種指定化学物質(2023年4月1日以降、第2種指定化学物質)

\* この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。取り扱いには充分注意して下さい。  
なお、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。  
また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、いかなる保証をなすものではありません。